



展連会プレスリリース

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より、私ども菊池寛実記念 智美術館の活動にご理解とご協力を賜り、誠に有難うございます。

公益財団法人菊池美術財団は、21世紀の陶芸界の新たな展開を探ることを目的に、全国から作品を公募し、公募展「菊池ビエンナーレ」を主催しています。昨年、第5回の公募と審査を行い、すべての入選作品を2013年6月8日[土]～9月1日[日]開催の、「第5回菊池ビエンナーレ—現代陶芸の〈今〉」展にて展示いたします。

第5回は、2012年10月20日を締切りに作品を募り、296点のご応募をいただきました。そして同年11月7日に第1次写真審査を、11月21日に第2次作品審査を行い、入選作48点を選出し、入選作の中から大賞1点、優秀賞2点、奨励賞10点を決定いたしました。

応募層は20歳代から70歳代までと幅広く、また地域も北海道から沖縄まで全国にわたりました。さらに今回は海外からのご応募も複数いただくなど、菊池ビエンナーレが陶芸界に浸透しつつあることを伺えるものとなりました。

つきましては展覧会の概要をお送り申し上げますので、本ビエンナーレをひとりでも多くの皆さまにお知らせいただき、周知にご協力を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

敬具

プレスプレビューを開催します。8頁のご案内をご覧ください。

■展覧会概要

展覧会名：第5回菊池ビエンナーレ 現代陶芸の〈今〉

会期：2013年6月8日[土]～9月1日[日]

会場：菊池寛実記念 智美術館 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 4-1-35 西久保ビル

・主催 公益法人菊池美術財団、日本経済新聞社 ・協賛 京葉ガス株式会社

・入館料 一般 800 円、大学生 500 円、小中高生 300 円

・休館日 毎週月曜日（ただし7月15日は開館）、7月16日（火）

※昨年配布の募集要項に記載した日程から、展覧会会期の変更がありましたのでご注意ください。

受賞作品/受賞者（賞別に名前、作品名、生年、在住地、主な経歴の順に記載）



大賞

美崎 光邦 《彩釉泥器「悠」》 h.56.0 35.4×22.3

1951年（千葉県八街市）

経歴：中央大学卒業。内原野、九谷、会津本郷、備前で修行。紀州尾鷲で独立後、富里町、八街市（現）に移築。朝日陶芸展、中日国際陶芸展入選。日本伝統工芸展奨励賞、長三賞陶芸展奨励賞、淡交ビエンナーレ佳作賞、日本陶芸展優秀作品賞・毎日新聞社賞、日本陶芸展最優秀作品賞・秩父宮杯、他。



優秀賞

久保田 厚子 《青白磁秋草大皿》 h.10.5 φ58.5

1953年（岡山県総社市）

経歴：東京藝術大学（陶芸）卒業。金沢工芸大賞コンペティション最優秀賞、日本伝統工芸展朝日新聞社賞、京都美術工芸展優秀賞、他。岡山県立大学デザイン学部教授（現）。



優秀賞

五味 謙二 《彩土器》 h.71.0 25.0×26.0

1978年（岐阜県土岐市）

経歴：早稲田大学人間科学部卒業。沖縄県壺屋にて修行、現代沖縄陶芸展優秀賞、益子陶芸展審査員特別賞、日本陶芸展準大賞、菊池ビエンナーレ奨励賞。第7回パラミタ陶芸大賞展、他。



飯沼 耕市
《銀泡彩鉢『KURUMU』》h. 25.0

1962年（茨城県笠間市）
経歴：滋賀県立陶芸の森スタジオ・アーティスト。朝日陶芸展、益子陶芸展、日本陶芸展、国際陶磁器展美濃、入選。第一美術展優秀賞、萩大賞展優秀賞、他。



岩崎 龍二
《黄檗釉壺》h. 40.0

1980年（大阪府藤井寺市）
経歴：日本伝統工芸展近畿展、全関西美術展、入選。大阪工芸展大阪市教育委員会委員長賞、大阪市長賞。



梅澤 幸子
《透光磁練上あさのは「花ひらり」》

各φ24.0
1972年（静岡県富士市）
経歴：室伏英治の工房助手を務める。静岡県工芸展、東海伝統工芸展入選。富士市展陶芸の部奨励賞。



小形 こず恵
《染付鉄線紋鉢》φ42.0

1974年（静岡県藤枝市）
経歴：愛知県立芸術大学（陶磁専攻）卒業。日本伝統工芸展、菊池ビエンナーレ入選。瀬戸染付公募展、瀬戸染付特別賞。東海伝統工芸展、愛知県知事賞、他。



岡田 泰《淡青釉鉢》φ45.5

1976年（山口県萩市）
経歴：東京造形大学（彫刻科）卒業。田部美術館茶の湯の造形展、日本伝統工芸展、菊池ビエンナーレ展、入選。西日本陶芸美術展山口県知事賞、山口県美術展優秀賞、山口伝統工芸展朝日新聞社賞、他。



澤田 勇人《赫彩器》h. 59.2

1978年（茨城県ひたちなか市）
経歴：日本陶芸展、日本伝統工芸展、菊池ビエンナーレ、長三賞常滑陶芸展、入選。伝統工芸陶芸部会日本工芸会賞、他。



星野 友幸《練継花器》h. 37.0

1976年（東京都国分寺市）
経歴：京都府立陶工高等技術専門校修了。猪飼祐一に師事。日本伝統工芸近畿展、東日本伝統工芸展、日本伝統工芸展、入選、他。



保立 剛《彩陶象嵌鉢》φ52.5

1962年（東京都八王子市）
経歴：中央大学法学部卒業。日展、日本伝統工芸展、益子陶芸展、日本陶芸展、朝日陶芸展、長三賞陶芸展、菊池ビエンナーレ展、入選。一水会陶芸部公募展大賞、他。



松谷 文生《静考》φ37.0×35.0

1975年（愛媛県砥部町）
経歴：嵯峨美術短期大学（陶芸科）卒業。今井政之・眞正、両氏に師事。神戸ビエンナーレ、伊丹国際クラフト展、入選。田部美術館茶の湯の造形展奨励賞、京都工芸ビエンナーレ日本経済新聞社賞、他。



和田山 真央《胎土》h. 40.0

1985年（大阪府大阪狭山市）
経歴：サウスダコタ州立大学卒業。昼馬和代に師事。新美工芸会展読売テレビ賞、大阪工芸展大阪府知事賞、兵庫工芸展奨励賞、他。

■入選者一覧（奨励賞以下は五十音順）■

	結果	氏名	フリガナ	作品名
1	大賞	美崎 光邦	ミサキ ミツクニ	彩釉泥器「悠」
2	優秀賞	久保田 厚子	クボタ アツコ	青白磁秋草大皿
3	優秀賞	五味 謙二	ゴミ ケンジ	彩土器
4	奨励賞	飯沼 耕市	イイヌマ コウイチ	銀泡彩鉢『KURUMU』
5	奨励賞	岩崎 龍二	イワサキ リュウジ	黄檗釉壺
6	奨励賞	梅澤 幸子	ウメザワ サチコ	透光磁練上あさのは「花ひらり」
7	奨励賞	岡田 泰	オカダ ヤスシ	淡青釉鉢
8	奨励賞	小形 こず恵	オガタ コズエ	染付鉄線紋鉢
9	奨励賞	澤田 勇人	サワダ ハヤト	赫彩器
10	奨励賞	星野 友幸	ホシノ トモユキ	練継花器
11	奨励賞	保立 剛	ホタテ ツヨシ	彩陶象嵌鉢
12	奨励賞	松谷 文生	マツタニ フミオ	静考
13	奨励賞	和田山 真央	ワダヤマ マサヒロ	胎土
14	入選	石原 祥嗣	イシハラ ショウジ	黒地菱文白金彩陶管
15	入選	石山 哲也	イシヤマ テツヤ	象嵌泥彩長方皿
16	入選	伊藤 公洋	イトウ コウヨウ	黄瀬戸組鉢
17	入選	伊藤 雄志	イトウ ユウシ	塩釉練込大鉢
18	入選	井戸川 豊	イドガワ ユタカ	銀泥彩磁鉢
19	入選	太田 公典	オオタ キミノリ	肝木文面取鉢
20	入選	岡田 裕	オカダ ユウ	炎彩花器
21	入選	鬼丸 尚幸	オニマル タカユキ	青白磁面取鉢「稜」
22	入選	神谷 紀雄	カミヤ ノリオ	鉄絵銅彩葡萄文角鉢
23	入選	川崎 忠夫	カワサキ タダオ	朱華檀文面取蓋物
24	入選	神田 樹里	カンダ ジュリ	綴る
25	入選	慶野 ことり	ケイノ コトリ	月のはなし—光と陰翳
26	入選	今野 朋子	コンノ トモコ	生の器
27	入選	崎山 隆之	サキヤマ タカユキ	扁壺「聴涛」
28	入選	渋谷 英一	シブヤ エイチ	黒彩器
29	入選	庄村 久喜	ショウムラ ヒサキ	白妙彩磁鉢
30	入選	須藤 訓史	スドウ サトシ	押点文陶管
31	入選	高垣 篤	タカガキ アツシ	茜青瓷—曙
32	入選	高橋 奈己	タカハシ ナミ	実

33	入選	富川 秋子	トミカワ アキコ	氷青釉鉢—氷解く—
34	入選	中田 雅巳	ナカダ マサル	SEN
35	入選	西田 宣生	ニシダ ノブオ	碧の器
36	入選	西本 直文	ニシモト ナオフミ	玄生銀耀器
37	入選	浜岡 満明	ハマオカ ミツアキ	光輪文黒器
38	入選	樋口 邦春	ヒグチ クニハル	青白磁流文鉢
39	入選	古野 幸治	フルノ ユキハル	碧蒼釉壺
40	入選	増原 香織	マスハラ カオリ	girar -origin-
41	入選	間野 舜園	マノ シュンエン	タタラ茶注、三種
42	入選	御手洗 真理	ミタライ マリ	帆翔
43	入選	宮島 正志	ミヤジマ マサシ	粒彩線条紋の器
44	入選	村越 郁夫	ムラコシ イクオ	ナガレタタズム2
45	入選	森山 寛二郎	モリヤマ カンジロウ	切り継ぎ
46	入選	呂 棟旭	ヨ ビョンウク	Silence
47	入選	和田 的	ワダ アキラ	翼
48	入選	渡 仁	ワタリ ジン	上野ヤケ釉 鉢

■審査員（敬称略）

審査員長 菊池 智（当財団理事長）

審査員 乾 由明（京都大学名誉教授）、榎本 徹（岐阜県現代陶芸美術館館長）、
唐澤 昌宏（東京国立近代美術館工芸課長）鈴木 藏（陶芸作家）、
林屋 晴三（当館館長）

■応募総数および、選考結果

応募総数 296 点

一次通過 130 点

入選 48 点（うち入賞 13 点）

■入賞者一覧■（賞別、五十音順）

●**大賞** みさき みつくに さいゆうでいき 美崎 光邦 《彩釉泥器「悠」》

●**優秀賞** せいはいくじあきくさおおざら 久保田 厚子 《青白磁秋草大皿》 ●**優秀賞** さいどき 五味 謙二 《彩土器》

●**奨励賞** ぎんほうさいはち 飯沼 耕市 《銀泡彩鉢『KURUMU』》、おうぼくゆうつぼ 岩崎 龍二 《黄檗釉壺》、

とうこうじねりあげ 梅澤 幸子 《透光磁練上あさのは「花ひらり」》、

やすし たんせいゆうぼち おがた そめつけてっせんもんぼち 岡田 泰 《淡青釉鉢》、小形 こず恵 《染付鉄線紋鉢》、

はやと かくさいき ねりつぎかき ほたて つよし さいとうぞうがんはち 澤田 勇人 《赫彩器》、星野 友幸 《練継花器》、保立 剛 《彩陶象嵌鉢》、

まつたに ふみお せいこう まさひろ 松谷 文生 《静考》、和田山 真央 《胎土》

展覧会関連行事

◆研究会 聴講料無料（要観覧料）

パネリストを中心に、ご来場いただいた作家の皆さまにもご参加いただきながら、意見交換の場として研究会を開催いたします。一般のお客様も是非、ご参加・ご聴講ください。

・第1回 6月29日（土）15時～

パネリスト：美崎光邦氏（大賞）、五味謙二氏（優秀賞）、飯沼耕市氏・小形こず恵氏・澤田勇人氏・星野友幸氏（奨励賞）、林屋晴三（当館館長）、花里麻理（当館学芸員）

・第2回 7月13日（土）15時～

パネリスト：久保田厚子氏（優秀賞）、岩崎龍二氏・梅澤幸子氏・岡田泰氏・保立剛氏・松谷文生氏・和田山真央氏（奨励賞）、唐澤昌宏氏（東京国立近代美術館工芸課長）、林屋晴三（当館館長）

◆講演会「私の現代陶芸—こしかた・ゆくすえ」 聴講料無料（要観覧料）

- ・8月17日（土）15時～ 講師：榎本徹氏（岐阜県現代陶芸美術館館長）

◆学芸員のギャラリートーク 聴講料無料（要観覧料）

- ・6月22日／7月6日、27日／8月10日、31日 各土曜日14時～

◆土で遊ぶ！子どもワークショップ

- ・8月3日（土）、4日（日）の2日間連続・各14時～

定員12名・小中学生対象（要保護者同伴、申込み先着）

参加費 2000円（観覧料込）※保護者の方も別途観覧料が必要となります

陶芸家の杉浦康益氏を講師にお招きし、子ども向けの作陶ワークショップを開催します。

詳細はお問合せ下さい。

◆智 美術サロン ～やきもの・工芸・美術に親しみたい方へ～

- ・6月23日（日）講師：菊池智、林屋晴三

- ・7月28日（日）講師：杉本博司（美術作家）

美術館1階レストラン「ヴォワ・ラクテ」にて15時～17時

定員30名様・予約制、参加費 各回5000円（観覧料は含みません。お茶とデザート付。）

◆西洋館見学会

6月15日（土）／7月27日（土） 各日11時より

定員20名様・予約制 参加費8000円

当館敷地内の西洋館（登録有形文化財）は、大正時代に建てられた後、修復を重ねながらも建具等の室内装飾が丁寧に保全され、今日まで使用されている希少な建物です。通常非公開の内部を、展覧会の期間中に特別公開いたします。西洋館のご案内（建築家 篠田義男氏による）、美術館観覧料（学芸員の解説付き）、レストラン ヴォワ・ラクテでのランチを含め、お一人様8000円です。

お問合せ・お申込みは当館まで Tel 03-5733-5131

■本展覧会について広報媒体へ掲載、取材をいただく場合、本リリースに紹介されている作品画像をデータでお貸し出した
します。申込書のご希望の図版に☑を記し、用紙を返信のうえ、お問い合わせください。ご紹介いただく記事、番組内容につい
ては、情報確認のため校正の段階で事務局までお知らせください。お貸出しする画像データは本展覧会終了をもって使用期限
とさせていただきます。

お問い合わせ先 菊池寛実記念 智美術館 (担当：高田・島崎)

TEL.03 (5733) 5131 FAX.03 (5733) 5132 <http://www.musee-tomo.or.jp/>

掲載・画像貸出申込書

返信先 FAX: 03-5733-5132

●貴社基本情報

会社名:	
担当部署:	担当者名:
住所:	
電話	ファックス:
E-MAIL:	

●媒体情報

新聞 雑誌	媒体名:	
	発行日:	発売日:
TV ラジオ	媒体名:	
	放送日:	放送時間:
ネット	URL:	

●画像貸出リスト キャプションには作者/作品名/(撮影者)を必ず入れてください。サイズの単位はcm。

希望作品に☑	作品キャプション
<input type="checkbox"/>	① 大賞：美崎 光邦 《彩釉泥器「悠」》 h.56.0 35.4×22.3 (撮影：尾見重治)
<input type="checkbox"/>	② 優秀賞：久保田 厚子 《青白磁秋草大皿》 h.10.5 φ58.5 (撮影：尾見重治)
<input type="checkbox"/>	③ 優秀賞：五味 謙二 《彩土器》 h.71.0 25.0×26.0 (撮影：尾見重治)
<input type="checkbox"/>	④ 奨励賞 → 作家名「 」を希望※キャプションはご連絡致します。

●読者プレゼント用チケット希望： 5組10名様 10組20名様

プレスレビューのご案内

展覧会の概要をご案内するプレスレビューをこのたびも開催いたします。
当日は第5回菊池ビエンナーレ展の概要、展示作品について当館館長林屋晴三がご案内申し上げます。
また、大賞、優秀賞を受賞された3人の作家にもご参加いただき、制作や作品について皆さまよりのご質問、インタビュー等をお受けいただく予定です。

ご多用のなか恐縮に存じますが、どうぞご出席くださいますようお願い申し上げます。

菊池寛実記念 智美術館

プレスレビュー 2013年6月8日(土) 14:00～

- 14:00～14:45 当館館長が展覧会の概要をご説明申し上げ、作品解説などギャラリートークを行います。作家の美崎光邦氏(大賞)、久保田厚子氏、五味謙二氏(共に優秀賞)にもご参加いただき、入選作品についてのご質問などをお受けいたします。また、展覧会場内をご撮影いただけます。
- 14:45～15:00 皆様からのご質問にお答えいたします。

会場：菊池寛実記念 智美術館 〒105-0001 港区虎ノ門 4-1-35 西久保ビル B1

- ・日比谷線・神谷町駅出口 4bより徒歩6分
- ・南北線・六本木一丁目駅改札口より徒歩8分
- ・南北線/銀座線・溜池山王駅出口 13より徒歩8分
- ・銀座線・虎ノ門駅：出口3より徒歩10分

ご出席いただける場合は、下記フォームにご記入の上、FAXにて
ご返信下さい。返信先 FAX 03-5733-5132

会社名：	
担当部署、氏名	
住所：	
電話：	FAX：
Email	